

上田知事が 市内の足袋製造会社を視察

8月1日、上田知事が県内をくまなく訪問して、現場の実情を直に把握し県政運営に生かす知事の「とことん訪問」が行われました。

この日は、佐間にある「きねや足袋株式会社」を視察。従業員が作業する中、足袋の製造工程などを見学した上田知事は「これからも行田が誇る足袋産業の次世代への継承をお願いするとともに、新しい製品の開発などを通してますます発展されることを期待しています」と激励しました。



ラジオ&ながちか(長親)体操で 広がる健康の輪

7月28日、行田グリーンアリーナで「みんなでラジオ&ながちか(長親)体操会～広げよう！健康の輪～」が開催され、414人が参加しました。

参加者は、市オリジナルの健康長寿体操であるながちか(長親)体操を行った後、全国ラジオ体操連盟公認指導者による効果的な動きについての解説を受けながらラジオ体操を実践。今後も市内で「健康の輪」が広がっていくことが期待されます。



小学生博物館ガイドが大活躍

7月24日・26日・27日の3日間、郷土博物館と県立さきたま史跡の博物館で中央小学校6年生が解説ボランティアとしてガイドを行いました。

これは、県との連携事業として今年初めて実施されたものです。児童らは、本市の歴史のある出土品などについて自ら調べてまとめた内容を、少し緊張した面持ちで来館者に解説。展示品などの説明を受けた人たちは、小学生博物館ガイドの丁寧な解説に耳を傾けていました。



富士見町4自治会合同で ラジオ体操が行われました

7月23日から8月31日まで、武蔵公園で富士見町4自治会合同による朝のラジオ体操が行われました。

昨年からは健康づくりと世代間交流を兼ねて始まったこの取り組みは、春・夏休み期間に合わせて行われ、今回で3回目。午前6時30分になると「おはよう」のあいさつが飛び交い、子どもから高齢者まで約50人が集まり、公園内に大きな人の輪がつけられました。ラジオ体操第1、2の曲に合わせて、腕を大きく振り元気よく体を動かした参加者は、爽やかな朝の空気を吸い、心地よい一日のスタートを切っていました。



美しい音色とともに ペルーの雰囲気にも包まれる

7月22日、8月19日に今年の田んぼアートのテーマである「大いなる翼とナスカの地上絵」になぞらえ、古代蓮会館で「ペルー Festa in 古代蓮の里～古代のロマンあふれる国・ペルーへの誘い～」が開催されました。

同館ロビーでは、サンポーニヤなど民族楽器や民芸品などが展示された他、香ばしいペルー料理の販売も行われました。7月22日には南米の民族音楽を奏でるグループ・パンカリータス、8月19日にはペルー出身の兄弟で活躍しているカルパンディーナによる演奏会も開かれ、美しい音色が響きわたると、会場はペルーの雰囲気にも包まれていました。



暑さを忘れ、夏祭りを楽しむ

7月29日、「第25回市民祭・行田浮き城まつり」が開催されました。初日の28日は台風12号の影響により中止となったため、1日みの開催となりましたが、台風一過となった夕方のステージ前は祭りを楽しもうとするたくさんの人で溢れていました。趣向を凝らした衣装を身にまとった22の連が「だんべ踊り」を披露すると威勢の良い掛け声とともにみこしが登場。そして祭りの最後を締めくくる5台の山車が一列に並び、鐘や太鼓を打ち鳴らし始め、祭りが最高潮に達すると観客は暑さも忘れその姿に見入っていました。



NHK Eテレ「すいえんサー」 笑顔溢れる公開録画

8月19日、「みらい」開館15周年を記念して同館文化ホールでNHK Eテレ「すいえんサー」の公開録画が行われました。

この日会場に集まった親子連れは約400人。いつもはテレビの中で繰り広げられるシーンを目の当たりにした子供たちは大喜びし、笑顔溢れる収録となりました。なお、この模様はNHK Eテレで10月9日(火)・16日(火)の2日間にわたって午後7時25分から放送される予定です。

